



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-7-23

足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)

日本共産党区議団 直通3880-5770

http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html

「プラスチックごみの分別・資源化を」求める討論

区は資源化「必ずやります」

産業環境委員会で「プラスチックごみの分別・資源化に関する陳情」を自民、公明、無党派が不採択にしました。私は六月二五日、本会議で採択を求める討論を行いました。

私は日本共産党足立区議団を代表して、ただいま議題となりました「プラスチックごみの分別・資源化に関する陳情」の不採択に反対し、採択を求める立場から討論を行います。

本陳情は、地球温暖化の深刻な影響が広がり、世界各地で大きな問題となっている中で、温室効果ガスの削減のため、資源としてリサイクルできるプラスチックごみを足立区も分別回収して資源化することを求め提出されたものです。



本会議で討論する伊藤区議 6月25日

足立区は四月からプラスチックごみの分別をやめて「燃やすごみ」として回収し、ペト

トボトルとトレイ以外は燃やすサマリサイクルを実施しました。

これについて陳情は、地球温暖化防止に逆行するものではないかと指摘し、委員会質疑の中でも取り上げられました。区は答弁で「サマリサイクルでプラスチックごみを燃やすようになったのは逆行ではなく、着実な前進」とのべましたが、2つの点で正しくありません。

第一に区民の分別の意識形成が後退、逆行することを軽視している点です。いままでも30年以上かけてプラスチック等を分別する意識を培い定着してきました。

それが今では、区長もホームページで「ペットボトルを可燃ごみとして出している方が増えた」と嘆いているとおりです。

学校ではごみ問題を勉強し分別することが大事と教えて、家ではいっしょに燃やせでは、どう考えていいかわからないと言う状況も生まれています。

「日本で一番地球にやさしい人のまち」にするというなら、四月の時点で、「混ぜて燃やしていい」とするのではなく、容器包装リサイクル法に基づきプラスチックを分別する方向にすすむべきだったの

区民の願いに背を向けた良公明、無党派、民主も

ではないでしょうか。

もうひとつは、区の言う「CO2の排出量はあまり変わらない」との根拠となっている比較がプラスチックごみを燃やした場合とリサイクルした場合の比較ではないということ。

区の比較しているのは、埋め立てた場合はメタンガスが発生し、燃やした場合と温室効果ガスの発生はあまり変わらないということであり、燃やさずにリサイクルした場合には温室効果ガスが減少することは区も認めているとおりです。

こうした事情があるからこそ、区はプラスチックごみの焼却を当初、「最適だ」と言っていた立場から、廃プラスチックの再資源化は「資源循環型社会を構築するうえで不可欠」「必ずやります」という立場を表明するに至っているのではないのでしょうか。

委員会質疑の中では、議員から「リサイクルするにも資源を使う」「学者によっては現時点では燃やす方がいいと言っている」との発言がありました。先日開かれた「環境サミット」で、足立区で、宇都市長がプラスチックを燃やさなくなったことがC

02削減に一番効果があった」と述べたように検証されていることからです。だからこそ区も削減効果を認め、リサイクルに向けて歩みをすすめているのではないのでしょうか。プラスチックごみ分別・資源化は、全国で過半数の自治体を取り組み、東京では多摩地域はほぼ全自治体で、23区でも半数が実施しています。

焼却に回してしまえばそのままCO2の発生につながるプラスチックごみを、燃やすのではなく回収することによって、マテリアルリサイクルで約5割、ケミカルリサイクルを含めれば98・8%再生・再利用されています。

足立でも「日も早く足を踏みだしたい」、これが1800人を超す陳情者の願いです。

議会は本来こうした流れを促進する立場で動くべきなのに、不採択にするということは、区民の立場にも、区の立場にも反するものではないのでしょうか。

議員各位におかれましては、地球温暖化防止に「一歩でも二歩でも参加したい、足を踏み出した」という区民の立場に、議会としても立つべきことを申し上げて論とします。

ご意見・ご要望をお寄せください



ガソリン、食料値上げ ラッシュで生活は大変!

原油・原材料の高騰が
区民の暮らしに影響を及
ぼしています。
ガソリンは180円、インス
タントラーメンは1.5倍の値
上げ、パンは小さくなり、みそ、
醤油、牛乳、トイレットペー
パーなど生活に欠かすことのできな
い品物やまた、クーリーニング、
ガソリン等々の値上げは、区民
生活に大きな痛みとなって襲い



区民アンケートなどに寄せられた声
●ガソリン、食料品の値上げは生活に響きます。給料収入が上
がらないのにますます大変です。
(40歳・女性)
●資材が高騰して仕事になり
ません。原材料の値段を抑えて
ください。(建設業・男性)
●仕事に必要なトラックの燃料
代(軽油)が2年前68円が現在
160円で仕事が立ち行かなく
なっています。(運送業・53歳)

かかっています。
特にそのしわ寄せが価格に転嫁
集中しています。
できないできない中小零細業者に

「原油高騰問題を考える 区民の懇談会」開かれる

「原油高騰問題を考え
る区民の懇談会」(六月十
二日)が開かれました。
今年一月党区議団は、
各分野から寄せられた原
油高騰対策で区長に申し
入れをおこない、二月に区
民(懇談会)が直接区長に
署名と生の声を届けまし
た。区は、区内中小業者へ
の影響調査を行い、83.
8%が高騰分を販売価格
に転嫁できないなど実態が
て国や都、区に対し区民
や業者の実情や窮
状を訴えていく活動
とその対策を講じる
ように求めています。
他の自治体で実施
していること、やる気
になれば足立でも実
現できます。私もが
んばります。
(伊藤 和彦)



明らかにになりました。相談
窓口も設置し、銭湯組合
に補助も実現しました。
東京都は福祉施設への補
助を少し増やすなど行わ
れました。原油高騰による
支援を港区(特別あつせん
融資)、渋谷区(クーリーニ
ング店の緊急経営支援)な
ど九区が独自施策を行っ
ています。

原材料高騰で学校給食は補助



原材料高騰は、学校給食に
も影響しています。
学校現場では小麦粉の値
上げてパン食の回数を減ら
したり、牛肉を豚肉に替え
る、デザートは果物は回数
を減らすなど涙ぐましい努
力をしています。
足立区では六月議会で、
給食費への補助(小中学校
三七〇〇万円余)を行うこ
とを明らかにし日本共産党
も賛成して議決しました。
区費によって値上げを抑
え、負担増から子どもと家
庭を守るというものです。
具体的には食材費の高騰
分を昨年度比で食材費一食
あたり四円程度値上がりし
ています。この分を米代相
当分として、子ども一人あ
たり一カ月七十円から八十
円支給するというもので子
どもいる家庭に朗報とな
りました。

★「こんにちは伊藤
ニュース」が八〇〇号
を突破して、本当にお
めでとうございます。
伊藤ニュースを毎週作
り、印刷発行するのは
大変でしょう。区議会
議員は、秘書がいるわ
けでもないからすべて伊
藤区議が作っているとい
うのは立派と言うほか

ないです。「継続は力
です。これからも区民
のために奮闘してくだ
さい。頼みます。
(花畑・Nさん男性)
★伊藤ニュースを毎回
楽しみにしています。先
日のニュースで八〇〇号
になったことを読んで
主人・お父さんと話し
ていたのですよ。こんな
(竹の塚・Iさん女性)

伊藤ニュース800号突破おめでとう